

●ゴールドウイング専用レッド

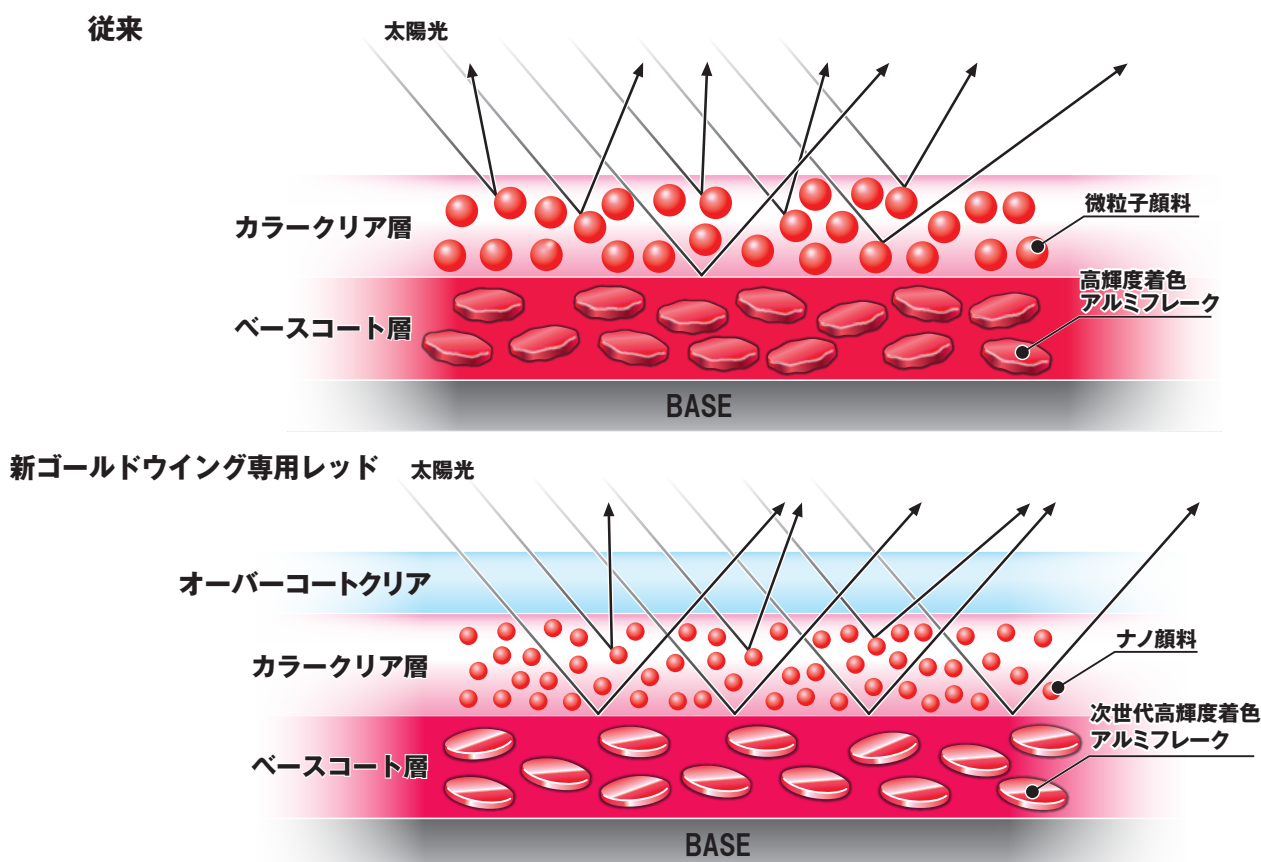
キャンディアーダントレッド

Hondaは1948年に創業しました。Hondaの二輪車は、それ以来380種を超える「赤」で彩られてきました。現在「赤」は、二輪車はもとより、Hondaそのものを象徴する色となっています。そしてどの「赤」も、Hondaの歴史が常にスポーツ、パッション、チャレンジによって紡がれて来たことを物語っています。

新しいゴールドウイングでは、専用の赤を新開発。さらに革新を遂げたHondaのフラッグシップモデルであることを象徴する「最上級のレッド」としました。

ベースコートの上にカラークリア、さらにオーバーコートクリアを塗り重ねた3層構造のキャンディ塗装仕様とし、ベースコートには従来のアルミフレークよりさらに薄くなめらかな表面で反射率を上げた“次世代高輝度着色アルミフレーク”を採用することで、より強くシャープな輝きを実現。また、カラークリアには“ナノ顔料”を採用することで、ベースコートに到達する光の透過率を格段に向上させました。これらにより従来のキャンディ塗装では成し得なかった、高彩度の透明感によるくっきりとした明るいハイライトと陰影の濃さを獲得。濡れたような深みと劇的なコントラストの強さによる豊かな立体感は、プレミアムツアラーとしての存在感を体現し、一目見た瞬間に人の心を捉えます。

■キャンディ仕様 新旧塗装断面比較イメージ図



ベースコートには、従来よりさらに薄くなめらかな表面で反射率を上げた“次世代高輝度着色アルミフレーク”を採用し、強くシャープな輝きを獲得。カラークリアには、従来よりさらに細かい“ナノ顔料”を採用することで、ベースコートに達する光の透過率を格段に向上。高彩度の透明感と、見る角度で色味が大きく変わる性質により豊かな立体感を実現。